

TDR50

1988年/市販車

ヤマハ発動機のミニバイクの歴史は、D T-1 をルーツとする人気オフロードシリーズのイメージをデフォルメしたG T 5 0 (愛称ミニトレ) が1 9 7 2年に発売され、市場で大きなブームを巻き起こしたことに始まる。

1 9 8 6年に発売されたY S R 5 0は当時主流であった1 0インチではなく、1 2インチのホイールを使用したことで、イメージの元となったY Z R 5 0 0を見事にスケールダウンしながら、愛嬌のある印象となり、きびきびした走行が可能な空冷エンジンの評価と相まってY S R 5 0のワンメークレースが開催されるほどの人気モデルとなった。

1 9 8 8年7月に発売されたオン・オフスポーツT D R 2 5 0の外観デザインのイメージをY S R 5 0と同じく1 2インチサイズホイールの5 0 ccミニバイクにスケールダウンしたモデルとしてT D R 5 0 が発売された。

新開発のピストンリードバルブ吸気・2ストローク・単気筒エンジンを搭載し、前後の足まわりにはホイールトラベル1 4 0 / 1 3 0 mmサスペンションと1 2インチキャストホイール、ディスクブレーキなどを採用した。

